

## 5 概 況

水道事業会計は、平成29年度から鶴形簡易水道事業を水道事業へ経営統合し、会計を一本化した。

業務実績を見ると、当年度の給水人口は42,221人で前年度比569人の減で、給水区域内普及率は96.6%で前年度比0.3ポイント増となっている。有収率は85.5%で、前年度比0.7ポイント減となっている。また、施設利用率は51.8%、最大稼働率は66.6%となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P3～4）。

経営成績を見ると、当年度純利益は合計191,094,884円で前年度と比較して12,950,718円（7.3%）の増となっている。この主な要因は、営業収益の増や営業外費用の減によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P5～8）。

財政状況を見ると、資産は現金預金の増により流動資産が増え、前年度と比較して77,085,118円（0.6%）の増となっている。また、負債は企業債等の減により、前年度と比較して138,499,941円（1.6%）の減となっており、資本は利益剰余金等の増により、前年度と比較して215,585,059円（5.8%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P9～14）。

給水収益の収入状況を見ると、現年度分の収入率は98.5%で、繰越分の収入率は57.4%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P15）。